

神のみこころ

(金曜日—一夜の部)

メッセージ 3

神のみこころが地で行なわれるために祈る

聖書：マタイ 6:10. ルカ 11:1. I ヨハネ 5:14-15. ヨハネ 15:4-5, 7

- I. 神はあらゆる事に対してみこころを持っていますが、独立して行動することはありません。そうではなく、神が願っているのは、神が何かを行なう前に、地上での人の意志が神のみこころ（意志）に呼応することです——マタイ 6:10. I ヨハネ 5:14-15 :
- A. 宇宙には、三つの意志があります。すなわち、神の意志（みこころ）、サタンの意志、人の意志です。神が願っているのは、人の意志が神に結びつけられ、神と一になり、それによって人が神のみこころの大いなる喜びのために、祈りの中で神の意志（みこころ）を神に対して表現し、呼応し返すことです——エペソ 1:5, 11. イザヤ 14:12-15. マタイ 6:10. 7:21. 26:39. ピリピ 2:13。
- B. 神は独立して行動することはありません。また神は独りでご自身のみこころを達成することはありません。そうではなく、神の民が神に同意し、神と一になるときはじめて、神はご自身のみこころを達成します——コロサイ 1:9. 4:12 :
1. もし天のみこころがあるだけなら、神は行動しません。神の民であるわたしたちが、天のみこころが地で行なわれることを願うときはじめて、天のみこころは地で達成されます——マタイ 6:10。
 2. 神はご自身の制定した律法にしたがって行動するので、彼ご自身のみこころによって地上の人の意志を無にすることはありません。神は人の意志を強奪することはありませんし、独立して行動することはありません——ヨシュア 24:15, 22。
 3. 地上における神の行動と働きに関係するあらゆる事は、地上における意志が神と協力するときはじめて達成されることが出来ます——ヨハネ 7:17。
 4. 神はご自身の求める事を、ひとりで行なうことはできません。神はそれを、召会の協力によってのみ行ないます。神は、召会を通してご自身のみこころを達成します。
 5. いつであれ神の民が自分の意志を神のみこころと調和させるとき、神のみこころは天で行なわれているように、地でも行なわれます——マタイ 6:10。
- II. 神の意図は、神と結合した信者たちの祈りを通して、神のみこころを達成することです——マタイ 6:10. ヨハネ 15:7 :
- A. 神が地上で行動してご自身のみこころを達成する前に、神の民が祈らなければなりません。
- B. 神が最も喜ぶ祈りは、神のみこころの達成を求める祈りです——I ヨハネ 5:14。
- C. 神が願うのは、わたしたちが神と共に働いて、神のみこころを達成することです。神と共に働く方法は、祈ることです——ルカ 11:1. 18:1. I テサロニケ 5:17 :
1. 祈りの目的は、わたしたちが神のみこころと一になり、それによって神が地上で働いて、ご自身の定められた御旨を成就することができるようになることです——ローマ 8:26-29。

2. 神のみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれるために、わたしたちが祈りの中で神と共に働くことをしなければ、神は地上で行動してご自身のみこころを達成することができません——マタイ 6:10。
3. もしわたしたちが主と一であるなら、わたしたちは神が求めるものを求め、わたしたちの意志は神のみこころと一になります——ヨハネ 15:7。
4. 神のみこころの達成を求める祈りは、わたしたちが神に行なって欲しい事を達成して下さるようにと神に求めることではなく、神ご自身が行ないたい事を神に求めることです。そのような祈りは、地上における神のみこころの出口です—— I ヨハネ 5:14-16。

D. 神のみこころが地で行なわれるための祈りは、四つの段階から成っています——マタイ 6:10 :

1. 神は、ご自身のみこころにしたがって何かを行なうことを意図します——エペソ 1:5, 11。
2. 神はわたしたちに、その霊を通してご自身のみこころを啓示して、わたしたちにご自身のみこころを知らせます。
3. わたしたちは祈りを通して、神のみこころを神へと戻し、呼応し返します—— I ヨハネ 5:14。
4. 神はご自身のみこころにしたがって、ご自身の働きを達成します—— 15 節。

E. 神が必要とするのは、わたしたちが自分の復活した意志を用いて、わたしたちの霊を活用して、神の神聖なみこころにしたがって祈ることです。それは、キリストがわたしたちによって現され、享受されるためであり、からだの生活がわたしたちによって実行されるためであり、キリストのからだをわたしたちを通して建造されるためです——ヘブル 10:5-10. ローマ 12:1-2. エペソ 1:4-6, 9, 11, 22 後半-23. 3:16-19. 4:16 :

1. 真の祈りの人とは、自分の願いが完全に神の願いとブレンディングされていて、自分の思想が完全に神の思想と一になっている人です。彼は、神の願いが刻み込まれている人であり、自分の心が神の心の複製である啓示の人です——サムエル上 2:35. 3:21. 12:23。
2. わたしたちは祈りの中で主に来るとき、その霊にわたしたちの願いを主の願いとミンダリングしていただき、わたしたちの思想を主の思想の中へともたらしめていただき、主の願いと思想をわたしたちの中へと刻み込んでいただく必要があります。その時、わたしたちが神の内側の願いをもって神に対して発する祈りは、神にとって尊く、重みがあり、価値のあるものとなり、サタンに損失を被らせます——ローマ 8:26-27. ピリピ 4:6. コロサイ 4:2, 12. マルコ 9:28-29. エペソ 6:10-20。

III. 神のみこころが地で行なわれるための効果ある祈りは、神の願いと意図との表現であり、わたしたちが主の中に住み、また主の言葉がわたしたちの中に住んだ結果です——ヨハネ 15:4-5, 7 :

A. 祈りとは、神の心の願いがわたしたちを経過して、神へと戻ることです :

1. わたしたちの祈りにおける願いは、わたしたちを起源とするのではなく、神を起源としており、神が願っている事の表現です——エペソ 1:5, 11。

2. 神の願いと意図は、その霊を通してわたしたちの中へと油塗られ、こうしてそれはわたしたちの願いと意図になります。そしてわたしたちはそれを祈りの中で神へと言い表します—— I ヨハネ 2:20, 27. 5:14-15。
 3. ですから、わたしたちの祈りとは、神の願いと意図が、神から出て来て、わたしたちを経過し、神へと戻ることです—— 14-15 節。
- B. すべて優勢な祈りは、すなわち、神の御前で効力あるものと勘定されることのできる祈りは、わたしたちが主の中に住み、また主の言葉をわたしたちの中に住ませた結果です——ヨハネ 15:4-5, 7 :
1. わたしたちが主の中に住み、また主の言葉がわたしたちの中に住むとき、わたしたちは神の感覚に触れ、神の願いを理解します—— 7 節。
 2. わたしたちは神の感覚に触れて、神の意図を理解した後、わたしたちの中の神の言葉から出て来る神の願いを、自然に持つようになります—— 7 節。
 3. 神の願いはわたしたちの願いとなり、神の求めているものはわたしたちの求めているものとなり、そしてわたしたちはこの願いにしたがって祈るようになります。
 4. 主はこのような祈りに答えてくださいます。こうして、神のみこころは、「天で行なわれているように、地でも行なわれます」——マタイ 6:10。